広島県印刷工業組合会報（毎月1日発行）

いんさつ広島

VOL.450
令和6年2月

発　行／広島県印刷工業組合　　発行人／中本　俊之
広島市西区南観音一丁目1番22号　TEL（082）293-0906　FAX（082）293-0954
URL：http://www.hiroshima-pia.jp　E-mail：h.inkumi@estate.ocn.ne.jp

「能登半島地震」により被害を受けられた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

令和6年新年互礼会
　年頭の挨拶
　　広島県印刷工業組合　理事長　中本 俊之

　来賓挨拶
　　全国印刷工業組合連合会　会長 滝澤　光正 様
　　自民党総裁 岸田文雄様　代理 岸田翔太郎 様
　　中国経済産業局　局長 實國　慎一 様
　　広島県知事　湯﨑　英彦 様
　　広島市長　松井　一實 様
　　広島県議会議員(県工組顧問)　山木　茂　様

2024第49回 備後印刷産業新年互礼会

事務局だより　●組合の動き

【令和6年新年互礼会開催】リーガロイヤルホテル広島

正月元日、近所から牡蠣をいただき庭で焼いていたらアップルウォッチに「石川県震度７」の速報が入り、すぐにテレビをつけるとニュースばかり、被災地の映像はあまり入らない。これは東日本大震災の再来かと不安が。時間が経つにつれて大惨事の映像が次々と映し出された。また、日に日に災害が大きくなり胸が痛んだ。

１月 16 日に義援金のお願いを周知しています。ぜひご協力をお願いします。

それとは別に、今年の年始はコロナ対策が緩んできて、新年互礼会開催がコロナ騒動以前に戻ってきたようだ。我々の会場も前に 500 名で行われており、別の会場でも行われていた。このまま活気が戻るように祈るばかりだ。

「令和６年能登半島地震」により被害を受けられた方々および関係者の皆さまに、広島県印刷工業組合は、心よりお見舞いを申し上げます。

令和６年　新年互礼会

滝澤全印工連会長が初参加

～　昨年より 11 名増で 183 名が集う　～

広島県印刷工業組合主催・印刷関連団体共催による令和６年新年互礼会が「見えないヒントを『読もう』」をスローガンに１月５日 (金) 午後６時からリーガロイヤルホテル広島で、ご来賓、組合員、関係団体より 183 名が出席し盛大に開催された。

司会は明るく爽やか、そして絶妙なトークの北山美砂子さん。まずは、１日に発生した能登半島地震により犠牲となられた方々に心より哀悼の意を捧げ黙とうを行った。そして、参加者全員の国歌「君が代」斉唱で開会した。

はじめに、広島県印刷工業組合中本俊之理事長より新年のあいさつ。つづいて、来賓を代表して初参加の全印工連会長　滝澤光正様、自由民主党総裁　衆議院議員岸田文雄様の代理　秘書　岸田翔太郎様、中国経済産業局長　實國慎一様、広島県知事　湯﨑英彦様、広島市長　松井一實様から祝辞をいただいた。そして、県工組の顧問である広島県議会議員の山木茂様に乾杯のご発声をいただき、祝宴開始。

宴会は、今年も昨年同様に、当印刷工業組合の「もったいない」という気持ちを持って、「残さず　おいしく食べきろう！」を合言葉に、広島市が推奨している「3010(さんまるいちまる) 運動」の説明をしてやっと開始。

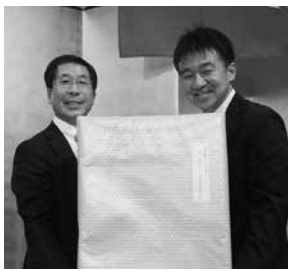
宴たけなわのころ、恒例の福引が担当の県工組青年部メンバーの進行により行われた。司会者が商品を紹介し、壇上で青年部の高山さんが参加者の氏名が記入してある抽選箱から１枚ずつ引き、名前を発表、当選者は賞品を受け取るという仕組みで行われた。最後の１等賞２本は中本理事長が引き、一つ目の“目もとエステ”はそれまでくじを引いていた高山陽子さんに、二つ目の“空気清浄機”は㈲新洋社印刷所の島田星平氏に当った。当選者は、「良いものをいただきうれしいです。これで今年は良いことがありそうです」と喜びを語られた。

最後は、広島県洋紙商連合会の小島健知会長が、めでたく三本締めをされ互礼会は幕を閉じた。

※「3010(さんまるいちまる) 運動」とは　宴会時の食べ残しを減らす運動です。これは、SDGs に繋がります。乾杯後 30 分間と終了前 10 分間は自分の席で料理を楽しむ。残さない。

黙とう

乾　杯


島田 星平 氏

高山 陽子さん

小島会長

三本締

年頭の挨拶

「見えないヒントを「読もう」」

広島県印刷工業組合
理事長　中本 俊之

あけましておめでとうございます。みなさまにおかれましてはすこやかに新年をお迎えになられましたことを心よりお慶び申し上げます。本年も昨年同様、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

本日は、多くのご来賓の皆さまにご臨席をたまわり、互礼会を開催できますことを、心から感謝申し上げます。

1《景況・全国大会》

１月１日に発生した令和６年能登半島地震により犠牲となられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地域の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年５月にG7広島サミット開催に合わせて新型コロナウイルスが２類から５類に緩和され、人の流れが大きく動きだしました。そして10月には「2023全日本印刷文化典広島大会」という一大イベントを無事に開催することができ、心より安堵いたしました。これもひとえに、本日ご来賓としてお越しいただいています全印工連の滝澤会長をはじめ、ここにおられます皆さまのご協力のおかげと、深く感謝申し上げます。

広島大会の開催は、2018年の高知大会以来５年ぶり、広島開催は50年ぶりでした。開催に至るまでには紆余曲折がありました。高知大会が終わった次の年2019年12月に広島大会実行委員会を立ち上げましたが、2020年長野大会が延期、2021年に中止となり、４年間の準備期間を経てようやく開催することができました。10月13日と14日の２日間にわたり、印刷組合の仲間ならびに印刷関連業界の皆さまなど、全国各地から580名にご参加いただき、盛会のうちに終えることができました。このようにたくさんの皆さまと親交を深め、有意義で心温まる時間を過ごすことができたことに、重ねて御礼申し上げます。

広島大会では「真っ赤に燃やせ！ 印刷魂」をテーマにかかげましたが、このテーマに込めた想い「厳しい状況下でも下を向かず、強い気持ちで未来を切り開こう」というメッセージを受け取っていただけたのであれば幸いです。

2《テーマ》

さて、その広島大会の中で全印工連フォーラムが開催されました。タイトルは「未来はバックキャスティングで切り拓け」でした。「皆さんを30年後の未来にお連れします」というものです。30年後の印刷業界がどのようになっているのか。しかし、30年後といってもおそらく人が知りたいとか、伝えたいはそんなに大きく変わらないと思いますが、情報コミュニケーションやテクノロジーは大きく様変わりしていると思います。

今から30年前、1994年（平成６年）ですが、ポケットベルが全盛期で携帯電話やPHSの普及率はわずか3.5%だったようです。そんな時代に今のスマホやパソコンの普及率を誰が予想できたでしょうか。未来のことは誰にも分かりませんから、正解の戦略を導き出すことは簡単ではありません。

そこで、今年の広島工組のテーマを「見えないヒントを『読もう』」としました。先行き不透明で、将来の予測も困難な時代ではありますが、見えないヒントは至るところに隠れています。世間の動向を「読む」、ユーザーのささやかな願いを「読む」など、見えないものを読み取る力を付けることで、われわれ自身が頼られ相談される存在、なくてはならない存在となるはずです。これからも組合員同士のつながりを大切に、「読む集団」、「読める集団」として、共に成長していきたいと思います。

いま印刷業を取り巻く環境が大きく変わり、われわれも変化を求められています。しかし、現実が厳しすぎてワクワク感を失っています。でも、未来に期待して前を向き、一歩でも前に踏み出すしかないと思います。未来がどうあっても、結局自分たちがやっていることの本質は「人との繋がり」です。印刷の本質と、何か別のものを掛け合わせると、きっと新しい価値が生まれると思います。こんなふうにしたい、こんなふうになりたい、うちの会社をこうしたいなどワクワクした気持ちで仕事に取り組む、そんな進歩ある年にしたいものです。

3《締め》

そしてもうひとつ、今年の「印刷産業夢メッセ」は10月18日19日に開催する予定です。印刷の未来を読む、見えないヒントを読む、そんな有意義な場となるよう、精一杯努めてまいります。

最後になりましたが、2024年が皆さまにとって良い年となりますよう祈念をいたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

祝辞

組織力を背景に共通課題の解決を

全日本印刷工業組合連合会
会　長　滝澤　光正

まずは、1月1日に発災した、能登を震源とする地震・津波によって、多くの尊い命が犠牲となりました。犠牲となられた方々に、心より哀悼の気持ちを捧げますと同時に、今なお、まだ捜索活動、救助活動が続けられているという状況に、大変心を痛めているところです。また、被災され大変苦しい状況に置かれている被災者の皆さまに、心よりお見舞いを申し上げます。

さて、旧年中は、私ども全日本印刷工業組合連合会の事業推進にご理解・ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。昨年10月、ここ広島で5年ぶりに、2023全日本印刷文化典広島大会を、全国から580名の参加を得て、大変盛大に成功裡に終えることができました。これもひとえに、広島工組の皆さん、そして協賛いただいた各企業の皆さん、関連業界の皆さんのお力添えの賜物で、大変感謝をしています。誠にありがとうございました。この全国大会で、久しぶりにリアルで我々の仲間が一堂に会し交流ができました。その場において、改めて私どもの組合の連帯・協調を確認することができましたし、この先の私たちの業界の発展に向けての課題の共有、進むべき方向性の共有が図れたのではないかと思っております。

昨年、全印工連もさまざまな事業を推進してきましたが、この文化典の他に、2つの大きな成果をあげることができました。まず1つは、8月に東京で全印工連として初めて開催した、伝えるためのメディア・ユニバーサルデザインフェアです。我々情報を伝える担い手として、メディア・ユニバーサルデザイン、全ての人に正しく情報を伝えるという活動を、もう全印工連としては20年行っていますが、初めて一般社会の方々に向けて、このMUDをご理解いただくための展示を行いました。おかげさまで3日間の会期中、大変多くの方々にご来場いただき、大手マスコミにも取り上げられ、広くこのMUDの私たちの取組みに対する理解が深まり、そしてさらには、SR調達への道筋をつけることができたのではないかと思っています。

また、2点目は、官公需における再生紙の入手困難の問題です。これは、もう数年来組合員の皆さんから、グリーン購入法が定める基準を満たす用紙が手に入らない、官公需の需要に応えることができないという課題が数多く挙げられ寄せられました。これに対し、ここ数年私どもは、自民党における中小印刷産業振興議員連盟の先生方のお力もお借りしながら、国に対してグリーン購入法の印刷用紙の基準変更を求める活動をしてきましたが、ようやく昨年6月に環境省に印刷用紙の基準変更のための検討会が設置され、私も委員として招聘され、毎回毎回の会議の中で、現実的な用紙が入手できるようなかたちへの基準変更を強く訴えてまいった結果、昨年末12月22日にようやくこの基準改正が閣議決定されました。今まで求められていた古紙パルプの最低保証の撤廃をはじめ新たな基準が採用され、従来17銘柄しかこの基準を満たす用紙は無かったのですが、一気にレギュラー品目を含む112品目が対象となりました。これにより、年度末の需要期に対し、1つの解決の道筋ができたのではないかと思います。詳しくは、全印工連のホームページに詳細を掲載しておりますので、官公需を行っている事業者の皆さん、それからグリーンプリンティング、環境印刷を推進しておられる組合員の皆さん、是非ご覧ください。

このように、全印工連では本年も引き続き全国の皆さんの組織力を背景に、お互いの共通課題の解決にまい進したいと考えています。「Happy Industry ～人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業～」の実現に向けて、本年も皆さんとともに、力強く事業推進をしていく所存でございます。引き続きのご理解・ご協力をお願い申し上げまして、私からの年頭のご挨拶とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございます。

4等が当たった笑顔の滝澤会長

食を「つくる人」と「食べる人」をつなぐ
Webメディア START!　新たな食体験を楽しもう!

ひろしま
食物語　Hiroshima tabemonogatari

https://www.tsukuruhitoniainiiku.jp/

Taisei

“情報で人々の暮らしを豊かに”

代表取締役 社長　吉岡　ゆかり

株式会社 Taisei
広島本社　〒731−0138　広島市安佐南区祇園3丁目24−17
TEL(082)875−3232　FAX(082)874−9822
東京営業所　〒100−0013　東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル2F
TEL・FAX (03)5654−7288

変化の時代　その変化を力に !!

自由民主党総裁
衆議院議員　岸田　文雄 様
代理秘書　岸田翔太郎 様

本来ならば、岸田文雄本人がこの場に駆けつけて皆さまと一緒に新年のお祝いをさせていただくところでございますが、元日に発生いたしました石川県能登半島の震災の対応のため、昨日、本日、ほぼ全ての公務をキャンセルして、今対応に当っているところでございます。代わりに、本人からメッセージを預かってまいりましたので、私のほうで代読をさせていただきます。

「新年明けましておめでとうございます。広島県印刷工業組合主催の新年互礼会のご盛会を祝い、皆さま方におかれましては、健やかに新しい年をお迎えになられましたことをお喜び申し上げます。まず、元日に発生した石川県能登地方を中心とした地震により、亡くなられた皆さまにお悔やみを申し上げるとともに、被災された皆さまにお見舞いを申し上げます。政府として、総力を挙げて被災地の復興に努めてまいります。

さて、本年の干支は甲辰です。十干の始まりである甲と、力強く天に昇る辰が合わさる年となります。字の如く、新たな気持ちで山積する課題に立ち向かい、日本を力強く発展させていく年にしたいと思います。

まずは、足元の物価高から国民生活を守り、物価上昇を上回る賃上げを必ず達成しなければなりません。経済界の皆さま方には、今年の春闘で昨年を上回る賃上げを力強く要望し、そして、賃上げとの相乗効果を狙い、所得税、住民税の定額減税も今年６月に実施いたします。「賃金が上がるというのは、こういうことなんだ」という実感を皆さまに持っていただく。そして、一人一人の実感を積み重ね、社会全体のマインドを変えていきます。

今まさに、我が国は大きな変化の時代を迎えています。しかし、振り返れば明治維新、戦後復興、高度成長期など、日本は大きな変化の時代にその流れをつかみ、変化を力にしてきました。令和の時代にもう一度、経済でも、外交でも、あらゆる分野で変化を力にしていく、そんな時代を再現いたします。

本日参加されている皆さまの一層のご理解・ご協力をお願いするとともに、本年が皆さま方にとって良き年となりますよう、ご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、年頭にあたってのお祝いのご挨拶とさせていただきます。

令和６年１月５日、内閣総理大臣岸田文雄」

おめでとうございました。

皆さまのいろいろな取り組み　挑戦を後押しします !!

中国経済産業局
局長　實國　慎一 様

はじめに、能登半島地震と、羽田空港での飛行機事故によりお亡くなりになられた方々に、謹んで哀悼の意を表します。また、被災された皆さまや、避難生活を余儀なくされている皆さまに、心よりお見舞いを申し上げます。経済産業省といたしましても、自治体や関係機関と緊密に連携しながら、ライフラインの早期復旧、必要な物資の支援などに全力で取り組んでまいります。

さて、改めまして、令和６年の新春を迎え謹んでお喜びを申し上げます。印刷業は、人々の情報伝達の手段として大変重要な役割を持つ歴史ある産業であり、また、全国各地にくまなく広がって、さまざまな産業とつながりを持つ、地域社会に密着した産業でもあります。貴組合におかれましては、昨年10月、50年ぶりとなる全国印刷文化典の広島開催を成功させるなど、コロナ禍を乗り越え、長年にわたって業界の振興と発展にご尽力いただいておりますことに、深く敬意を表します。

今般、デジタル化による情報手段の多様化や、カーボンニュートラルへの対応など、印刷業を取り巻く環境は大きく変化しています。本日は、全日本印刷工業組合連合会の滝澤会長もご出席されておられますが、連合会では印刷推進デジタルフォーメーションプロジェクトとして、製造工程の流れを合理化するオープンプラットフォームを開発し、稼働されたと伺っております。

中国経済産業局といたしましても、デジタルトランスフォーメーションによる生産性向上の取組み、構造的な人手不足を乗り越え売上げを拡大するための省人化・省力化投資、脱炭素に向けた省エネの取組み、取引の適正化を通じた価格転嫁と継続的な賃上げなど、皆さまの挑戦を後押ししてまいります。本年も貴組合が中心となって、変革への取組みに向けて業界一丸となって取り組まれていかれることを、強く期待しております。

今年は十干十二支で、甲辰に当たります。「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」という意味があるそうです。皆さまの取組みが、未来に向けての確かな成功を形作る、そのような１年になることを願っております。

最後になりますが、広島県印刷工業組合のますますのご発展と、本日ご参加されている皆さまのご健勝を祈念いたしまして、私の新年の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

バックキャストは
非常に大事!!

広島県知事
湯﨑　英彦 様

明けましておめでとうございます。

令和6年の新春を迎えまして、広島県印刷工業組合の皆さんお揃いでこの新春新年互礼会を開催されますことを、心からお喜びを申し上げたいと思います。

一方で、能登半島地震、また羽田空港での飛行機事故などについても、心よりお見舞いを申し上げます。

さて、先ほど中本理事長から、30年先を見据えてバックキャストするというお話がございました。私は、これは非常に重要なことだと思います。広島県には「安心」「誇り」「挑戦」ビジョンという、10年の総合計画がございますが、これも30年後を見据えて、そして30年後にそこにたどり着くためには、10年後にどうなっていなければならないかということをベースにしたビジョンです。これは計画ではなくて、「こうなりたい」「こうあろう」「ここを目指そう」というビジョンですけども、まさに30年後に印刷業界がどうなっているのか。印刷だけではなくて、人と人とのコミュニケーションというものがどうなっているのか。それを表現するメディア、あるいは手段がどうなっているのか。そういったことをベースにこれから取組むということは、本当に意義があることだと思います。

折しも今、生成AIであるとか、さまざまな技術変化が急速に進んでいるところです。「こうなる」ということの予想は難しいかもしれませんが、「こうなりたい」「こうしたい」ということを思い定めてそこに向かっていくということは、取組む者にとっても非常に大きなモチベーションになると思いますし、そこへまた皆さんの力を合わせて進めていくということが、業界の新たな地平を切り開いていくことにもなるのではないかと思います。

本県も、コロナ後のポストコロナに当たって、ちょうどG7広島サミットがありました。これはもちろん、我々がビジョンを作った時にはこういうことが起きるとは予想もしていなかったことでありますが、我々はブーストと呼んでおりますけれども、この大きな追い風を受けて、新たな広島県の発展に尽くしてまいりたいと思っておりますし、その過程において、印刷工業組合の皆さまにも大変お世話になることがあろうかと思うと言うよりも、これは確信をしております。いろんな観光にせよ、あるいはさまざまな施策推進にせよ、人と人とのコミュニケーションというのが我々の施策のベースになっておりますので、皆さま方のお力添えを心からお願いを申し上げる次第でございます。

新たな門出にあたり、広島県印刷工業組合とご列席の皆さま方のますますのご発展と、ご健勝、大いなるご活躍を心から祈念申し上げまして、お祝いのご挨拶と代えさせていただきます。本日は、誠におめでとうございます。

省エネ機器導入支援事業を
ぜひ利用してください!!

広島市長
松井　一實 様

皆さま方、明けましておめでとうございます。

はじめに、能登半島地震により犠牲になられた方々に対しまして、深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げたいと思います。

昨年の10月には、全日本印刷文化典広島大会を本市で開催されました。580名もの関係者が参加されまして、記念式典をはじめとする講演会、フォーラム、多彩なプログラムを盛大に実施されました。印刷産業、これは私たちの身の回りの多くの物に関わっている、重大な情報コミュニケーション産業であります。当大会を契機とし、印刷業界のさらなる魅力の向上、あるいは地域の活性化につながったものと、うれしく思っ

ROBOCUT SYSTEM
コンピューターカッターを中心とする
給排紙省力化システム
イトーテック株式会社
大阪支店
〒577-0022 東大阪市荒本新町3-29
TEL〈06〉6618-5335　FAX〈06〉6618-5337

UDフォント
ユニバーサルデザインフォント
わかりやすく、読みやすく、間違えにくい。
わたしたちの暮らしの、さまざまなシーンで活躍する
モリサワの「UDフォント」
モリサワ　www.morisawa.co.jp

ているところであります。

先月の広島商工会議所の景気観測では、製造業の景気は横ばいであるものの、原材料、商品の仕入価格が上昇するというが続いておりまして、今後も引き続きこういった状況が続くということが見込まれているようであります。

組合員の皆さま方にとりましては、とても厳しい経営環境に困られているなかにあって、SDGs、あるいはカーボンニュートラル、こういった社会課題への対応もますます強く要請される、そんな状況にあろうかと思っております。こうしたなか、全日本印刷工業組合連合会を中心に、カーボンニュートラルに向けた指針の作成、あるいは環境推進工場の登録講習のオンライン化等々、業界を挙げて地球環境のこの問題にも配慮した取組みを推進されていると受け止めております。

また、本市では、物価高騰の影響により、厳しい経営環境のなかにある中小企業。これを行う省エネへの取組みを支援するために、印刷機械などの生産設備を含め、省エネ性能の高い機器への設備更新経費を補助する事業をいたします。先月の議会において、承認をいただいた中小企業等への省エネ機器導入支援事業は、地域の脱炭素化、そして中小企業のコスト低減に資する、一石二鳥の取組みだと考えておりまして、本日ご参列の皆さま方の、経営の一助になるのではないかなと考えております。ぜひご活用いただいて、脱炭素社会づくりや地域経済の発展の協力を賜ればと願っているところでございます。

結びに、広島県印刷工業組合の今後のますますのご発展、そして本日ご出席の皆々さまのご健勝・ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本日は、誠におめでとうございます。

必要な紙は使っていく。バンバン使うぞ

広島県議会議員
（広島県印刷工業組合顧問）
山木 茂 様

皆さん、明けましておめでとうございます。

本日は、会長、また知事の話のなかで、バックキャストという話がありました。やはり、将来を見て今何をするべきかということを考えるのは大事だということは私も思っておりまして、大阪万博のことが頭に浮かびました。あの空飛ぶタクシーは実現しそうだという話がありました。今、広島空港が遠いという話がありますので、そこに空飛ぶタクシーというのをいつか導入できるかどうかということを、私はこの２月に一般質問が回ってくる可能性がありますので、知事のお考えをその時にちょっと聞いてみたいなと思っているところでございます。

また、印刷と言いますと、やはり書籍等が、デジタル書籍になったとしても、やはり電気が無かったら見られなくなって、機械が壊れたら見られなくなってという致命的な物があります。書籍であればもう自然にここに存在するという「人間は考える葦である」というのが、一番最初に我々が学ぶことの１つだと思いますが、その知性の表われである書籍という物、そういった物は、必ずや世界になければならんと思っております。そういった「必要な紙は使っていく」と堂々と言っていく。いくらペーパーレス、SDGs と言われようとも、「必要な物は使っていく。バンバン使うぞ」という思いで、今年１年間盛り上げていきたいと思います。

それでは、乾杯のご用意をお願いいたします。

年始よりいろいろございましたが、被災を免れた我々は、しっかりと元気よく一歩を踏み出したいと思いますので、元気よくご唱和をお願いしたいと思います。それでは、ご唱和ください。乾杯。ありがとうございました。

FUJIFILM
Value from Innovation
富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社
代表取締役社長
山田 周一郎
本社 〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目26番地30号 富士フイルム西麻布ビル 03(6419)0300
ホームページ https://www.fujifilm.com/ffgs/ja

2024 年 第 49 回
備後印刷産業 新年互礼会

第 49 回備後印刷産業新年互礼会を１月 11 日（木）午後６時から福山ニューキャッスルホテルにおいて開催。広島県工組から中本理事長、宇都宮副理事長、西村事務局長のご出席を賜り、期待のかかる年明けの中 70 名が出席、盛大な会となりました。

近江実行委員長の「開会の辞」から始まり、国歌斉唱、そして、市川府中支部長の主催者挨拶が「昨年はＷＢＣの活躍に元気をもらい、全日本印刷文化典広島大会も盛会でしたが、今年は、元日早々能登半島地震・羽田空港事故と先行きが不透明です。まさに「見えないヒントを『読もう』」、多様化していく時代、一人では答えが出せない事もあります。そんな時は周りの人に相談してください。また、周りの人も力を貸してあげてください。ここにおられる方々はプロの集まりですから」とあり、続いて県工組中本理事長様からの来賓のご祝辞を頂き、小田福山支部長の乾杯の発声を合図

近江氏

市川氏

小田氏

佐藤氏

に和やかな雰囲気の中、アート印刷の近藤さんによるクイズ大会でシャネルの賞品や、恒例の新年を占うビンゴゲームを天野・杉原氏の名コンビで開始、自転車・JCB 商品券・選べるギフト・スクラッチ宝くじなど商品は全員に当たる大盤振る舞い。楽しくおかしく大笑いのゲームでした。

宴の終わりは次回実行委員長の佐藤氏の一本締めで互礼会を閉会することが出来ました。

最後に、厳しい情勢の中、今回もご協賛いただきました各社様にはこの場を借りまして心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。（実行委員長 近江）

乾　杯

１本締め

事務局だより

◎ 組合のうごき

１月	5日	県工組新年互礼会	リーガロイヤルホテル広島
	11日	備後印刷産業新年互礼会	福山ニューキャッスルホテル
	15日	常任役員会	web会議
２月	2日	環境労務委員会	愛　媛
		全青協正副議長会	東　京
	3日	全青協第 37 回全国協議会	東　京
	16日	中国地区印刷協議会(下期)	広島ガーデンパレス
	27日	産業戦略デザイン室	岐　阜

令和6年新年互礼会のお礼

新年互礼会（１月５日）に大勢の皆さまにご出席いただきましたことありがとうございました。
広島県印刷工業組合 事務局

KIKKAWA PAPER
株式会社 吉川紙店
〒733-0833　広島市西区商工センター六丁目7番7号
電 話 代表(082)277-５８１１番
ＦＡＸ　　(082)277-５８１６番